

ふるさと公園応援隊 かわらばん

第 144 号

(初刊：2011 年 11 月 6 日)

発行日：2023 年 10 月 10 日

発行元：ふるさと公園応援隊

編集責任者：深澤 満

「激暑で休んだ分を取り戻そう」の意気込みで ♪

9 月の定例作業日 (9/26) は、

前日までのやや過ごし易い天気から、暑さがぶり返しつつある日和りでしたが、時おり吹く風は「ア～秋～！」という感じでした。

当日の参加者は 19 人。林内班-12 人、ゴミ班-6 人で作業。1 人は、入院ま近かで差し入れのみの方でした。林内班は、B 地区 I 期区域(原っぱ広場の北側)での作業。

ゴミ班のコースは、東西通り・サッカー場通り・サッカー場・東京狭山線～東京方向(道路沿い/道路下)～もどって開発交差点・湿地・霊園通り・桜木神社通り・第二駐車場・旧管理棟。コース記号は、イ-K-L-I-F-a' -a-p' -O-(0') -P-E-S-R-C-i-ロ-C-U-C-B-W-b' -b-g-g' -A-d-N-K となります。

特記事項としては、①G→O 区間の一部が倒木と繁茂した草で通行不可になっていました。②シェルター北側のオオブタクサ繁茂地はきれいに草刈りされていました。③湿地はやや湿り気がある感じがしました。④湿地周辺には彼岸花が咲いていました。⑤女郎蜘蛛の巣をたくさん見かけました。



[9/26 作業参加者集合写真]

まずは、林内班の**三浦さん**からの報告です。

『朝方の気温は 20 度を下回り如何にも涼しく活動日としては最適かと思いきや、意に反し活動開始頃から 28, 9 度に上昇大いに失望させられた。』

集まったのは 19 人、この日も企業から店長、マネジャーなど 5 人の強力な助っ人の参加があった。

2022 年 3 月から社会貢献として初参加以来今日で延べ 82 人目となる。この間の大いなる貢献に心から感謝したい。その存在は大きい。何と言っても最大の功労は林内作業にあって、毎回重量のある伐採枝を集積地まで運ぶ作業を積極的にこなしてくれたことだ。高齢者揃いの我々にとって、運搬が一番苦痛と困難と疲労が伴い出来ればやりたくない作業。30 代

40 代の彼らがその殆どに積極的に携わってくれたことでどれ程助かったか知れない。

有り難うと言いたい。活動に

欠かせない存在として今後も引き続き参加してくれる事を希望している。

準備体操、写真撮影後の班分けはゴミ拾い班 6 名、林内作業班 12 名となった。

林内班のこの日の作業地は前回に続く北側のデイキャンプ地付近だ。2017 年 6 月 27 日初めて着手して以来ほぼ 6 年ぶりの地点に戻っての再整備となり今日が 2 回目だ。外から見る林内は切り株から発生した萌芽枝や腰高に繁る雑草が覆い繁り、奥の見通しはすこぶる悪くなっており、6 年間のギャップによる変化は驚くばかりだ。

この日も刈り払い機 4 台を主力に背丈の高い草を刈り払い、刈った草や萌芽枝は人力により道路でなく道路近くの何カ所かに運搬集積することとした。

林内作業とはいえ本来なら程よい木陰があるはずだがナラガレ病で強制伐採したためその部分だけポッカーリ開け日当たりが良くなり雑草にとっては最適環境となり伸び伸びと育っている。炎天下での作業さながら全員悪戦苦闘皆汗だくの状態。

作業面積は、前回の 12 日は暑さが厳しかったこと、初回という事情から作業量は間口 20 m奥行き 20m位しか出来なか

ったが、この日は間口 80m位とかなりアップした。人力作業 7 名による成果としては上出来と自賛したい。

因みに 9 月 18 日気象庁から気温 30 度以上の真夏日 86 日目を迎えているとの報道があったが記録の更新はいつまで続くのだろう。初秋が過ぎたのに涼しさとは程遠い異常気象に戸惑うばかりだ。』



[9/26 林内作業-1]



[9/26 林内作業-2]



[9/26 林内班集合写真]

次いで、ゴミ班の**水島さん**からの感想です。『久しぶりのカルチャパークでしたが、林の中では蟬の声も聞こえてまだ夏の暑さを感じられる一日でした。

フラワー通りからサッカー場を抜けて狭山線を清瀬方面に逆戻りしてトンネルの半ばまで歩きましたが、ゴミはわずかし

ありませんでした。

大変良い傾向です。いつもなら信号のある周辺は、車から投げ捨てられたと思われる空き缶やペットボトル、そしてビニールの袋などが見つかりましたがほとんどありません。

マナーが良くなってきたのかと、これがこれからも続けてくれることを期待しながら湿地まで歩きました。

ところどころ

に「彼岸花」が真っ赤に咲いているのが目に入り、こ



れで夏も終わった合図なのかなと思われました。

湿地に水の気配は全くありません。

何時ものように雑草の生い茂る中、足を取られながらも一周しました。



左写真のように湿地の真ん中に、小さな桜の木が葉をいっぱいつけて立っています。

今年はあまり桜の花が咲いていませんでしたが、この様子だと来年の春は花を沢山つけた姿が見られるのではないかと、勝手にイメージを膨らませていました。

桜木神社から駐車場までもさほどゴミは見つかりませんでした。

来月もゴミが少ないことを期

待して、そして少し色づいた林の木々が見られることを想像しながら自転車のペダルをこいで家路につきました。』



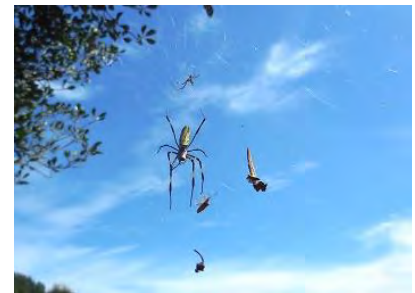
[9/26 ゴミ班集合写真]



[9/26 刈り取られたオオバコ繁茂地]



[9/26 ゴミ集約]



[9/26 女郎蜘蛛]

9 月の第二作業日(9/12)は、

猛暑日の連続記録が終わったとはいえ。35 度近くまでの暑さが続いていました。ちょっと日陰に入るとホッとしますが、陽射しのあるところでは……。

作業がほぼ 2 か月ぶりのこの日は、広報 9 月号を見た新規参

加者が3人、作業終了近くに差し入れを持って現れた松郷のマサコさま等計13名。

林内班は6名で、ボーイスカウト区域に隣接した領域での作業。

ゴミ班は6名で、東西通りを東端まで行き、東京狭山線沿いに向かおうとして草刈りを始めたが5mほど進んで断念。

サッカー場通りに戻り、湿地の入り口で一休み。湿地はほぼカラカラ。桜木神社通りから第二駐車場を経て林内作業地へ。

コース記号はイ-K-L-I-F-G-F-a' -i-ロ-C-U-C-B-W-b' -b-g-g' -A-d-N-M-L-K となります。材、「湿地」はカラカラ状態でした。



[9/12 作業開始前集合写真]

まずは、差し入れ隊の**松郷のマサコさま**からの便りです。

『久しぶりにカルチャーパークに出かけた。今の私は作業は無理。でもメンバーの皆さんの顔も見たい。この暑さの中でも作業しようというのは、体力、気力が必要。老体のメンバーが多い応援隊、何人くらい出ているかなあ？作業の終わる頃を見計らって行く。』

かつて最初に林内作業を始めた場所で、ちょうど作業を終えたところだった。思いのほかの

人数で、今日初めて『翔びたつひろば』を見て参加したという人が3人。…そう言えば、『翔びたつひろば』の広報の言葉もその度に工夫があつていいなあと思心しているが…。

林内の、今日作業して平たくなった所にシートを敷いて皆さん集まった。作業をしていない奥は草が茂って、それでもかつての手を入れをしてなかった時のような、手に負えない藪とは違う。新たにどんどん生えてくるこれらの草に追いかけれながら、それでもこの背の高くなった草も、私のような女の力でも始末できるのではないかな？。腰が良くなったらとその時のことを思う。

私の休んでいる間に仲間になってくださった方々のお顔にも接した。作業を通じきっとこの『応援隊』の自然体の活動を支持し、続けて来てくれると思う、有り難く思う。初期からのメンバーより若め？で、年々老いを実感する私達としては、長く参加してほしいと願う。私も家に居ると横になっている生活から、たとえささやかな差し入れでも、持って行こうと思ったから出かけられた。復帰したらまたコツコツ活動に参加しよう！』



[9/12 終了前集合写真]

次いで、林内班の**三浦さん**からの報告です。

『朝方の気温は24度だが日中の最高気温は32度と相変わらずの真夏日が続いている。高齢者にとって熱中症、体調不調が心配される為8月は活動を休止としてきたが、今年は極端な暑さ続きのため7月25日も急遽活動を中止にせざるを得ないというおまけが付いたので2ヶ月ぶりの再開となった。集まったのは13人。この日、市の広報「翔びたつ広場の」ボランティア募集を見て参加した3人が加わった。二人は久米から電車、バスを乗り継いで来たという母親と息子さん、一人は遠く北中から来たという男性の参加があった。』

班分けはゴミ拾い班6、林内班6人。林内班の作業地は2016年6月初めて着手した地点のデイキャンプ地の北側の地点だ。いざ現地へ着いて驚いた。想像を超える腰丈の高い草に覆われ園路側から林の奥が全く見通せない位生長していたからだ。当然と言えば当然だがナラガレ病で強制伐採されたエリアの生長が他のエリアに比べ特別著しかった。

予想を大きく超え刈り払い機でも容易でないことが見て取れ如何に処理しようか思案しばし途方に暮れたくらい酷い状況だ。気を取り戻し刈り払い機3台、あとは人力頼みしかないかと腹をくくり意を決し着手。

林内作業とはいえ直射日光が

差し込む炎天下同様の環境下で刈り払いした草の多さもさることながら風も無く蒸し暑い中悪戦苦闘汗だくで頑張り何とか作業を終えた。6人の皆さんの苦労を心から労い感謝したい。』



[9/12 ゴミ集約]

10月の作業予定

定例作業日:10月31日(火)

第二作業日:10月12日(木)

作業時間:9:30~11:30

* 作業内容:

ゴミ拾い・林内作業

* 持ち物: 手袋、タオル、雨具、
飲み物、念のため、保険証・
お薬手帳など

10/31は弁当(作業終了後昼食会)

荒天など天候不順の場合は、事前に中止連絡しますが、微妙な場合現地にて判断します。

判断に迷うときは、深澤まで
[090-8014-3310]連絡下さい。

10月以降の作業予定日-

10/12(木) 10/31(火: 定例) 11/14(火) 11/28(火: 定例)
12/12(火) 12/26(火)は午前中懇談会、昼から忘年会予定。

2024年

1/11(木) 1/30(火: 定例) 2/13(火) 2/27(火: 定例)
3/12(火) 3/26(火: 定例)

*3月の中～下旬に応援隊の総会的懇談会を実施します。

コロナ対策の基本について

WHOは「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」の宣言を終了しましたが、同時に「ウイルスは命を奪い続け、変異も続けている。宣言の終了をもって各国は国民に、新型コロナは心配ないというメッセージを送ってはいけない」と述べています。なお、まだパンデミック宣言は終了していません。

ということで従来の予防策に準じた行動を基本とします。

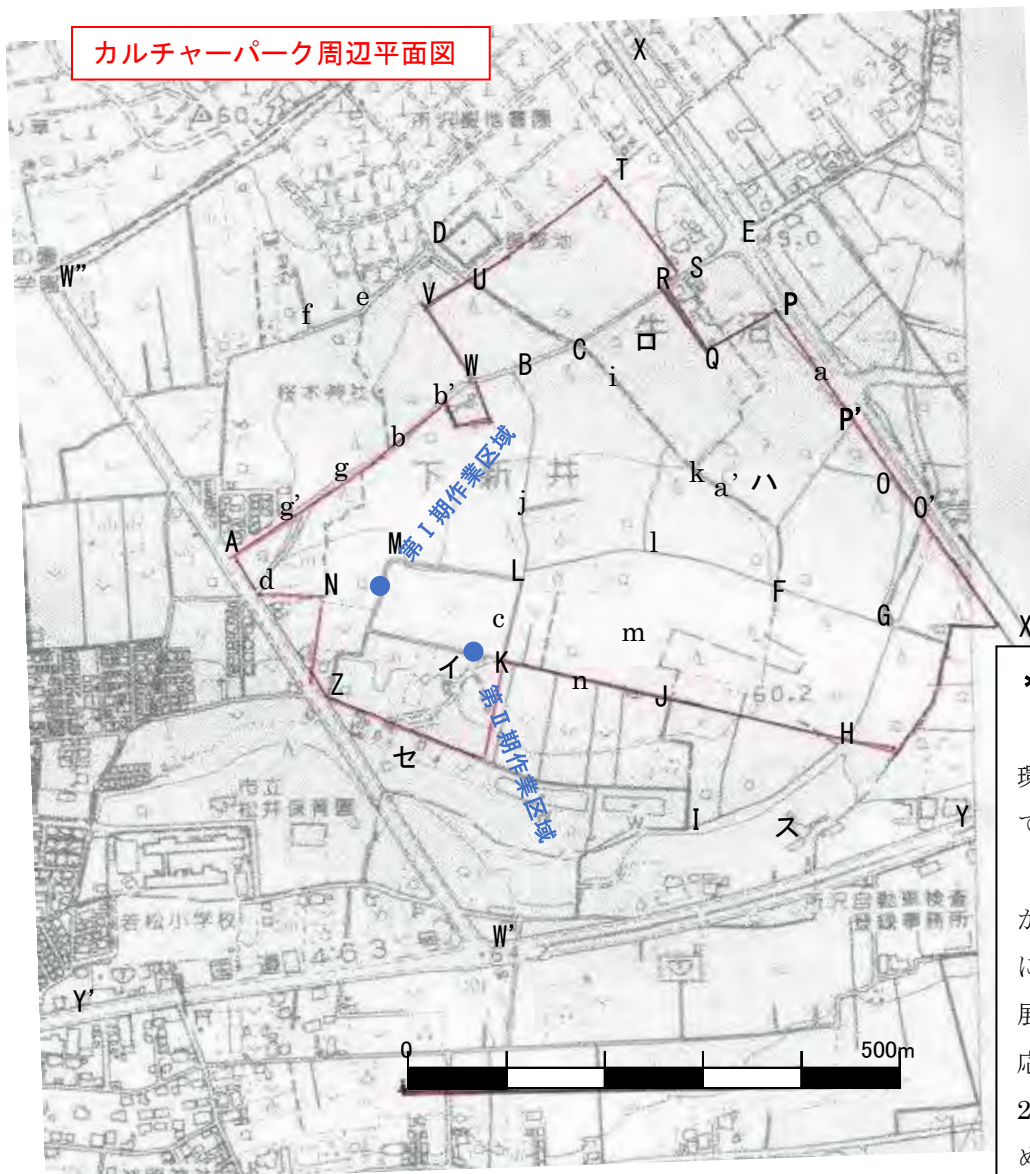
感染予防対策、

- ・ 間隔をとっての行動。(体操・作業)
 - ・ マスク着用: 各自の判断とします。
 - ・ 作業間隔の短縮・水分補給。
 - ・ 使い捨て手袋または終了直後に洗える手袋など使用(特にゴミ拾い)。
- なお、石鹸・消毒用アルコールは準備しています。

新型コロナ発生時の対応策

- ① 毎回参加者名簿(連絡先電話番号入り)を作成する。
- ② 次の場合その都度、代表へ連絡する。(発信元は伏せて参加者に知らせる)
イ. 症状があり、検査を受けた時。
ハ. 検査結果と医師・保健所などの指示
- ③ 陽性者が出た場合、求められれば、参加者名簿を保健所・公園課に提出します。

カルチャーパーク周辺平面図



カルチャーパーク周辺 名称

地点名	イ	現在のデイキャンプ場
	ロ	湿 地
	ハ	現在のサッカー場
	セ	特養、グループホーム
	ス	産 廃
	E	交差点「開発」
	W'	交差点「牛沼」
通り名	X-E-X'	県道東京狭山線
	W'' -A-W'	市道 カルチャーパーク通り
	Y-W' -Y'	国道
園内通り名 (仮称の たたき台です)	A-B-C-E	桜木神社通り
	D-C	霊園通り
	C-F	サッカー場通り
	B-L-K	中央通り
	L-F-G	東西通り(L-F:フラワー通り)
	G-H	東通り
	K-J-I	農道
	I-H	産廃裏通り

園内の通りの名称は仮称(たたき台)です。

皆さんからの御意見をお寄せください。

* この「応援隊」は

所沢市民大学 18 期「都市の環境」講座の受講生が呼びかけて始められました。

“所沢カルチャーパーク”が、「平成 11 年度基本構想」にのっとった公園として発展・整備されるように見守り、応援してゆくことを目指し、2011 年 10 月より活動をはじめました。

定例作業は毎月最終火曜日

まずはゴミ拾いと散策から取り組んできましたが、現在は「森の再生」をも念頭に置き、作業内容も広がっています。

どなたでも参加できますのでお気軽にどうぞ。

追加の予備作業日については、「かわらばん」でお知らせします。

* お願い

「かわらばん」の発行は、定例作業日(毎月最終火曜日)の翌月 10 日となっています。

参加された皆様、写真や感想メモのあるかたは、**翌月の 5 日**までに深澤まで送ってください。よろしく。